

IoTプラットフォームビジネス・エコシステム構築手法の提案 (エコシステムの戦略策定における新提案)

八十岡 恒人

プラットフォーム・エコシステム構築の課題

プラットフォーム化による産業の発展が期待され、様々なプラットフォームビジネスとそのエコシステムの拡大が進んでいる。しかしながら、QFDやビジネスモデルキャンバスなどの古くから利用されている設計手法は、プラットフォームビジネスやエコシステムの構築を想定したものではなく、そのまま適用できないケースがある。

構築手法の提案による解決

IoTイノベーションデザイン手法をベースに、プラットフォームビジネス・エコシステムに対応した方式を提案する。

- ・QFDを、ビジネス、サービス、機能、テクノロジーとの関連と重要度で分析。(矢頭氏担当)
- ・CVCAを、プラットフォーム構築時とサービス運用時で分けてステークホルダー分析を行う。

プラットフォームビジネス・エコシステム対応版IoTイノベーションデザイン手法

IoTイノベーションデザイン手法

Step1:
顧客と提案価値の明確化



Step2:
IoTによる提案価値の検討



Step3:
エコシステムの戦略策定



Step4:
事業化シナリオの設計



Step5:
リスクの可視化と共有

エコシステム構築

ビジネスモデル
キャンバス
突合分析

CVCA
プラットフォーム
構築フェーズ

CVCA
サービス提供
フェーズ

オープンクローズ
キャンバス

CVCA【プラットフォーム構築フェーズ】



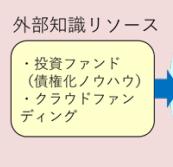
CVCA【サービス提供フェーズ】例：アパートマンション賃貸チェーン



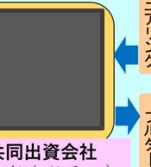
【Point】

・2種類のCVCA(顧客価値連鎖分析)に分ける事でステークホルダーを整理

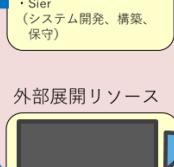
オープン領域



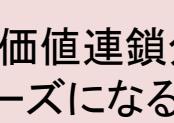
クローズ領域



外部製造リソース



外部展開リソース



【Point】

・フェーズ毎のCVCA(顧客価値連鎖分析)作成により、オープンクローズキャンバス作成がスムーズになる